



産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN
発行所 ©産業経済新聞東京本社2017
〒100-8077東京都千代田区大手町1-7-2
☎東京(03)3231-7111 (大代表)

産経新聞

オリンピック競技を生んだ古代ギリシャでは、政治家の生き方がしばしばスポーツの在り方と比較されたものだ。それは、格闘競技と同じように、政治のゲーム参加者も、盛りの時期が

治家のキャリアにも引退にふさわしい時期が訪れるという紀元1世紀の著述家、プルタルコス指摘には、冷徹な真理が含まれている。そもそも選挙とは、気が衰えた者を篩にかける機

ば、古今東西を問わず、国家や政党の要職、政治活動の場で得る充実感と喜びは共通している。自分の力で成し遂げた立法や政策が人々のためになり、その達成感をもたらす喜びは政治家の本懐といふべきだろう。

るものであれ、思考できるものであれ、この世には存在しない、と『モラリア9』から。月桂樹の冠がやがて色あせるように、政治家の業績や栄誉も、年とともに枯れていくのは避けられない。絶えず何か新しい

歴史の文差点

フジテレビ特任顧問 山内昌之



過ぎれば「惨め」になるといふことだろう。確かに、どれほどのスターでもスポーツの選手たちは、肉体の衰えを自覚すると引退しなくてはならない。同じように、政

会でもあり、自ら引退を表明する者もいれば、落選の憂き目を見て政界を去る者もいる。

称賛ほど耳に快いものはない。これは現代の日本人政治家に見えるものであれ、記憶に残

るもの、生き生きとしたものを付け加え、往事の業績や成果を人々に感謝させ、いよいよ立派で不滅の成果にできれば、年齢を越えて政治家はいつまでも存在感を発揮できるかもしれない。しかし、この領域に達した

政治家は世界史でも稀である。従って、良質な政党政治家は余力を残して引退するのである。国民と有権者はもとより政治評論家や政治学者といったプロにも惜しまれる引退ならば、もって嘆ずべしと言ふべきだろう。今回の総選挙に出馬しなかつた自民党の谷垣禎一元総裁と高村正彦副総裁は、その数少ない例ではないだろうか。

惜しまれる政治家の引退

プルタルコスは、うまいことを述べている。

燦々と明るく照らされ、誰からもよく見える場で政治努力の成果に喜びを感じる以上に、政治家に与えてくれる喜びは、目

に、一つの弁解がその技量を奈落の底へ突き落とす」とは、ピントタロスの詩句である。思慮深い谷垣氏と高村氏は、人が苦境にあるときに平常心で堪える意志力と自信の在り方を教えてくれた。2人の御加餐を心からお祈りしたい。

やまづち まさゆき